

平成26年度岐阜県図書館アクションプラン評価シート

平成 27 年 3 月 31 日現在

1 資料の収集・保存

取組	実施状況	数値目標
今後の資料収集計画を視野に入れた保管スペースの検討【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書庫の使用状況及び今後の収蔵能力の分析 ・ 収蔵スペース拡大のための対策検討 	
利用しやすい館内表示の検討【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回岐阜県図書館協議会で意見聴取を実施(8月) ・ 利用者アンケートを実施(9月) ・ 利用者・専門家・図書館協議会委員・職員から収集した意見(85件)を分析 ・ 「館内表示の基本ルール案」を策定 	
県行政や地域の課題解決支援に資する専門性の高い資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政刊行物の収集 国の出先機関、県、市町村に寄贈依頼 ・ 地域(郷土)資料の収集 新聞の出版情報等から情報収集・寄贈依頼 ・ 選書会を月に2回実施、資料収集参考票をもとに専門性の高い資料を収集 購入…9,940冊、寄贈…5,592冊 ・ 県行政機関からの購入希望図書受付 危機管理・法律関連図書3冊購入 ・ 県立高等学校図書館からの購入希望図書受付 PC関連図書3冊購入 	
レファレンスサービスや「しらべかた案内」(パスファインダー)に連動した資料収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンスサービスに連動した資料 「相続」(20冊)、子ども向け「農産製造」(3冊) ・ 調べ案内に連動した資料 「市場・業界情報」に関する図書(14冊) 「観光」(7冊)、「結婚」(3冊) 	
郷土資料や地図関連資料、児童図書研究室資料等の重点収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土資料 購入…755冊(うち古書77冊) 寄贈…2,576冊 ・ 地図資料…国土地理院発行資料、岐阜県関係の古地図及び隣接県の住宅地図 地図購入…483点、図書…75冊 寄贈地図…298点 ・ 児童図書研究室資料…絵本、児童文学・児童文学参考資料 購入…1,206冊、寄贈…409冊 	
所蔵するCD-ROMやDVD-ROMの利用環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令関係のCD-ROM等の動作確認の実施 利用希望のあった資料について実施 514件中34件実施 	

成果と課題

【今後の資料収集計画を視野に入れた保管スペースの検討】

成果 書庫の使用状況を分析し、資料の増加予測、除籍等による抑制対策を検討の上、当面、収蔵能力に支障がないことを確認した。

課題 抑制対策の具体的な実施方針をさらに検討する。

【利用しやすい館内表示の検討】

成果 意見聴取の結果、①情報の整理②美観・環境③利便性④その他の4項目に分類し、館内表示の基本ルールを策定した。

課題 平成27年度以降、本ルールを基準とし、誤った表示、重複している表示、文字の小さい表示、汚損した表示を整理、順次対応していく。

【県行政や地域の課題解決支援に資する専門性の高い資料の収集】

成果 県行政機関や県立高校の購入希望調査を行い、それぞれのニーズに即した、課題解決支援に役立つ専門性の高い資料を収集した。

課題 地元の新聞記事等から積極的に地域の課題を把握し、資料収集を行う。

【レファレンスサービスやしらべかた案内に連動した資料収集】

成果 レファレンスサービスで質問の多い内容や、館内に置いてある「しらべ案内」に関連する資料を積極的に収集したことで、利用者の課題解決に応える資料収集をすることができた。(例：H26年度に購入した「相続」関連図書20冊の貸出回数は延べ60回)

課題 最近5年間の新しい資料がない分野等について、優先的に関連図書の選書を行う。

【郷土資料や地図関連資料、児童図書研究室資料等の重点収集】

成果 郷土資料、地図関連資料、児童図書研究室用図書が充実し、県民や地域の課題解決を支援する特色ある資料を収集・提供することができた。

デジタル化された行政刊行物を収集する際、著作権許諾について担当部署に個別に問い合わせ・確認する必要があるため、手続きの簡素化をはかり、従来の許諾書の書式を変更した。

課題 引き続き重点収集に取り組んでいく。

【所蔵するCD-ROMやDVD-ROMの利用環境整備】

成果 所蔵するCD-ROM等の動作環境が最新のパソコンの環境では保証外であるため、3月のシステム更新時に導入するパソコンで利用頻度の高い順にCD-ROM、DVD-ROMの動作確認を実施した。

課題 利用頻度の低いCD-ROM、DVD-ROMの動作確認は、利用者からの資料要求に応じて実施する。

2 図書館サービス

①生涯学習の支援及び施設を利用した学習機会等の提供		
取組	実施状況	数値目標
高校を対象にしたセプト文庫の整備	・高校へ希望調査を実施し、資料を購入 「修学旅行」「依存症」「感染症」「生活習慣病」「英	

【新規】	語多読」「日本古典文学」「LLブック」「郷土料理」に関する資料を購入。 資料セット数 18セット 高校・特支への貸出…12校（53セット）	
特集コーナー設置による読書活動支援 【新規】	・特集コーナーのテーマ 4月：子ども読書の日、6月：食育月間・古田足日、7月：清流月間、8月：ぎふの山に親しむ月間、9月：熊谷守一、10月：ノーベル物理学賞、11月：ふるさと教育週間、12月：和紙・早船ちよ、3月：小島信夫	
文化・学術活動やまちおこしの場の提供 【新規】	・施設提供件数…312件 研修室1・2同時…55件、研修室1…44件、多目的ホール…86件、多目的小ホール…18件、研修室2…62件、特別会議室…23件、企画展示室…8件、楽書交流サロン…16件	
児童図書研究室資料を活用した子どもと本を結ぶ活動・研究の支援	・児童図書研究室の利用 室利用…443人、資料貸出…1,647冊 ・児童図書研究室資料のパッケージの貸出 新刊絵本パッケージ…6件 読み比べ絵本パッケージ…2件 ・小学校「夏の友」「冬の友」資料作成の支援 ・児童図書研究の参考図書新着リスト作成…7件	
児童図書研究通信の発行	・児童図書研究通信「あひるの子」を年1回発行（HP公開） ＜主な記事の内容＞ 県内公共図書館の「子ども読書の日」、「こどもの読書週間」関連行事一覧 ・相互協力通信「プチあひるの子」を毎月発行（県内市町村図書館・室職員向け） ＜主な記事の内容＞ 児童図書研究室資料の紹介、利用方法 児童図書館員養成専門講座の受講報告 児童サービス実践研修講座の報告	
対象別おはなし会の実施	・乳幼児向けおはなし会（第2木曜日） 実施…12回、参加者…652人 ・幼児～小学校低学年向けおはなし会（第1・3日曜日） 実施…22回、参加者…542人 ・小学生向けおはなし会（第2土曜日） 実施…12回、参加者…292人	
視覚障がい者サービス協力者音訳講習会中級課程の開催	・講習会（全11回）を開催 視覚障がい者サービス協力者10人、県内図書館職員3人が受講。部分受講1人を除く12人が修了	

成果と課題

【高校を対象にしたセット文庫の整備】

成果 高校への希望調査により、ニーズに合ったセット文庫を 18 セット整備することができた。

課題 現場職員からのニーズを「リクエスト申込票」により収集し、セット内容の充実を図る。

【特集コーナー設置による読書活動支援】

成果 郷土に関するもののほか、話題になったニュースや時季に応じたテーマで特集コーナーを設置し、利用者の関心に応えることができた。

課題 コーナー設置については、計画的に実施し、事前に広報を行う。不定期・時事的なものはツイッター等で PR に努める。

【文化・学術活動やまちおこしの場の提供】

成果 有料による施設利用は 3 年目となり、リピーターを中心として利用件数が増加してきた。また、県内部における利用料の支払いについては、公金振替により対応し会計事務の簡素化を図った。

課題 今後新規利用者の拡大を図るため、きめ細かな広報に心掛る。

【児童図書研究室資料を活用した子どもと本を結ぶ活動・研究の支援】

成果 新着リストを作成・掲示し、児童図書研究室の活用促進を図った。

児童図書研究室資料のパッケージを 2 件（「児童文学入門」「国際アンデルセン賞作家代表作」）作成し、ホームページに掲載した。

課題 引き続き新着リストの作成・掲示など、情報発信・提供に努め、児童図書研究室の活用促進を図る。

【児童図書研究通信の発行】

成果 「児童研究室の使い方」や「児童図書研究室に入った新刊本の紹介」等の情報を掲載し、県内市町村図書館等の児童サービスへの活用を促すことができた。

「児童サービス実践研修講座」「児童図書館員養成専門講座」の受講報告を掲載し、児童サービスに関連する情報提供を行った。

【対象別おはなし会の実施】

成果 対象別おはなし会を毎月継続的に開催し、子どもたちに絵本や読書の楽しさを伝えることができた。

課題 多くの子どもたちにおはなし会へ参加してもらえるよう、引き続きおはなし会前の声かけや、お知らせの掲示などで積極的に PR する。

【視覚障がい者サービス協力者音訳講習会中級課程の開催】

成果 録音図書製作ができる視覚障がい者サービス協力者を養成し、音訳図書の製作に資することができた。講習会修了者は各自 1 冊ずつ録音図書の音訳に取り組んでいる。

②課題解決の支援と他機関との連携		
取組	実施状況	数値目標
課題解決支援のための行政機関との連携の模索 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県文化財保護センターと共催事業の実施 「本で紹介されたふるさと岐阜の出土遺品」を企画展示室で開催 展示関連資料を開架に展示・貸出 ・ 県美術館と共催事業の実施 「熊谷守一展」に合わせて、開架に関連資料を展示。 図書館資料を活用する子ども向けワークショップ 「熊谷守一に学ぶ昆虫の絵を描こう」を開催 ・ 県博物館と共催事業の実施 「飛騨の紙絵馬展」開催 	
レファレンスサービスや「しらべかた案内」に連動した資料収集	前掲	
図書館活用講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館探検（一般）…55人 ・ 図書館探検（子ども）…19人 ・ お父さんお母さんのための読み聞かせ講座…45人 ・ 教職員のための図書館活用講座…72人 	
課題に沿った「しらべかた案内」の作成・充実、利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規作成…「まちづくり」「ジビエ」「人間ドック」 ・ ロビー設置の「しらべかた案内」入れ替えを実施 	
成果と課題 【課題解決支援のための行政機関との連携の模索】 成果 県文化財保護センターの企画展示や県美術館の企画展に合わせた資料展示により、県民の関心を高めることができた。 課題 社会教育機関に働きかけ、新たな需要を掘り起こす必要がある。 【図書館活用講座の開催】 成果 読み聞かせ講座では「受講が県図書館を利用するきっかけとなった」、図書館探検では「県図書館の特色を理解することができた」「レファレンスサービスを利用してみたいと思った」等の感想を得、図書館の利用促進につなげることができた。 課題 年度ごとのテーマを設定するなど、県民のニーズに合った講座を開催する。 【課題に沿った「しらべかた案内」の作成・充実、利用促進】 成果 「岐阜県の郷土料理を調べる」は学校で授業に使いたいという反響があった。しらべかた案内 11 件の改訂と 3 件の新規作成を行い、公開した。		

③情報サービスの充実		
取組	実施状況	数値目標
蔵書等検索の利便性向上 【新規】	・県図書館が所蔵する資料とデジタル化資料を一括検索するための新書誌情報システムの構築 業者の決定：9月 設計・開発：10月以降 一般公開：3月	
岐阜県総合目録の利便性向上 【新規】	・「岐阜県総合目録（横断検索）」のより速い応答の実現 業者の決定：9月 設計・開発：10月以降 一般公開：3月	
新しい情報端末への対応 【新規】	・スマートフォンによる蔵書検索等への対応 業者の決定：9月 設計・開発：10月以降 一般公開：3月	
地図資料のデジタル化とインターネット上での公開	・新規デジタル化件数…124件（203枚） ・システム変更に伴い、高精細の古地図デジタル（1,528点）を公開。	
岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実	・作成実績…17,670件 新聞記事…17,317件（過年度分11,746件、今年度分5,571件） 雑誌記事…353件（H25.10～H26.9受入分）	
デジタル化された資料のインターネット上での公開	・高精細なデジタル化資料（郷土資料及び地図資料）を新書誌情報システムで公開。	
「しらべかた案内」のインターネット上での公開	・平成26年度に作成した3種、改訂した11種を27年4月にホームページで公開。	

成果と課題

【蔵書等検索の利便性向上】【岐阜県総合目録の利便性向上】【新しい情報端末への対応】

成果 図書資料・新聞雑誌記事・デジタル化資料を一括で検索できるようになった。総合目録の検索結果の表示までの時間が短縮されたり、スマートフォン等の新しい情報端末に蔵書検索を対応させたりすることができた。

【地図資料のデジタル化とインターネット上での公開】

成果 岐阜県関係の古地図のうち約9割のデジタル化を完了した。

【岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実】

成果 データ作成件数の目標は達成でき、データベースを検索してもより多くの情報を提供することができるようになった。

課題 新聞記事データを引き続き作成し、郷土関係記事データベースの内容を充実させる。

【デジタル化された資料のインターネット上での公開】

成果 デジタル化資料の内、郷土資料はページ送り機能を、地図資料は拡大表示機能を付加

するなど、利便性の向上を図ることができた。

課題 今後もデジタル化資料のインターネット公開を進める。

【「しらべかた案内」のインターネット上での公開】

成果 当館利用者だけでなく、市町村図書館等でレファレンスツールとして使用されるようになった。

課題 効果検証のために、「調べ案内」の利用状況を把握する方法を検討する。

3 県内市町村図書館等への支援

取組	実施状況	数値目標
相互協力の充実 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 相互貸借担当者研修 実施回数…3回、参加者数…55人 参加自治体数：36市町 満足度：大変満足76%、満足24% 相互貸借実績 県内相互貸借定期便資料流通点数…20,280点 内訳（点） 当館から県内図書館へ 9,256 県内図書館から当館へ 644 <u>県内図書館から県内図書館へ 10,380</u> 計 20,280 	県内相互貸借定期便資料流通点数 22,000点
職員の派遣や受入れ等による研修の充実【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 派遣実績…14回 県教委、司書等研修での講義…2回 市町村図書館等主催の研修等での講義、相談…2回 その他（地図情報の魅力ほか）…6回 館内派遣（市町村教委研修）…3市町（4講座）4回 受入実績 岐阜市立図書館職員19人（経験3年以上） 10月全体研修1回、11月～1月のうち各3日間 内容：相互協力、レファレンス資料の選び方、カウンター見学・実習、レファレンス演習等 	
ホームページ上の掲示板による情報共有 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 県内図書館同士が情報共有を行える掲示板機能を備えた図書館向けのホームページを作成。 	
平成27年度全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）の開催準備 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 開催概要を日本図書館協会に報告 開催日：平成27年11月5・6日 会場：岐阜市立中央図書館（平成27年夏開館予定） 基調講演講師、役割分担等について協議 第1回準備委員会開催（11月14日） 第2回準備委員会開催（2月19日） 	

市町村図書館等職員に対する階層別目的別研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者専門研修（1日）・司書等研修（4日間）参加者：265人 満足度：大変満足 59%、満足 41% ・岐阜大学図書館共催研修会 「海外の日本研究者のニーズに国内の図書館が応えるには？」参加者：19人 満足度：大変満足 38%、満足 62% ・児童サービス実践研修講座 参加者：34人 満足度：大変満足 50%、満足 50% ・相互協力担当者研修（前掲） 	県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会における満足度 90%
県内市町村図書館等への巡回による助言・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館訪問 8月：白川町、本巣市、安八町、瑞穂市、輪之内町、10月：羽島市、大野町、揖斐川町、山泉市、9月：大垣市、池田町 2月：各務原市 ・地区別意見交換会 6月：可茂地区 11月：西濃地区 1月：美濃地区、岐阜地区 2月：東濃地区 ・公民館図書室巡回：12・1月：8市町村で実施 可茂地区公民館図書室担当者意見交換会：12月実施 	
児童サービス実践研修講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者サービスの基礎と読み聞かせ」をテーマに実施 御嵩町中公民館、参加者：34人 (満足度：前出) 	
<p>成果と課題</p> <p>【相互協力の充実】</p> <p>成果 市町村図書館等の相互貸借担当者の研修を初めて他の研修会とは別に単独で行い、円滑な運用に資することができた。</p> <p>課題 新書誌情報システム導入に伴い、新たな相互貸借システムの運用に関する研修を実施し、スムーズな相互貸借をすすめる。</p> <p>【職員の派遣や受入れ等による研修の充実】</p> <p>成果 当館職員を講師として派遣した研修では、講義内容が具体的で有意義だったと高く評価され、市町村図書館等職員の資質向上に寄与することができた。 岐阜市職員 19 名を受入れ、レファレンスを中心に現場研修を実施し、平成 27 年度に開館する岐阜市立中央図書館での業務のシミュレーション実施に寄与した。</p> <p>課題 現場指導を取り入れた実践型の研修を実施し、市町村図書館等の人材育成を支援するため、一定数の受入れを行う体制を整備する。</p> <p>【ホームページ上の掲示板による情報共有】</p> <p>成果 システム更新に伴い、図書館専用ページに掲示板機能を備えたホームページを作成した。</p>		

課題	このページを活用し、県内図書館間の情報共有を図る。
【平成 27 年度全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)の開催準備】	
成果	11 月の全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）の開催に向け、岐阜県公共図書館協議会の理事を委員とする実行委員会を立ち上げた。
課題	開催要項、事業計画、予算をもとに大会を開催する。
【市町村図書館等職員に対する階層別目的別研修の実施】	
成果	合計 5 種類の研修を行い、全県域での職員の資質向上に資することができた。
課題	引き続き専門知識を習得できる場として、時機に合った研修を実施する。
【県内市町村図書館等への巡回による助言・指導】	
成果	図書館・図書室を直接訪問することで、各館の課題に対する助言や意見交換をすることができた。
課題	県図書館から情報提供や助言を行うなどの支援をするなかで明らかになった市町村図書館等が抱える共通の課題について検討し、意見交換等に反映させる。
【児童サービス実践研修講座の実施】	
成果	障がいのある児童へのサービス提供についての知識向上に資することができた。
課題	受講生から収集した意見をもとに、講座計画を作成する。

4 職員研修・広報活動

取組	実施状況	数値目標
新しいコミュニケーションツールを駆使した情報発信【新規】	・ ホームページの更新情報とイベント情報を随時ツイッターで発信… 166 ツイート	
館内での会議等を利用した研修の実施	・ 防災訓練、各種研修報告、接遇研修、健康講話等を実施（月末図書整理日の全体会議） ・ 朝のレファレンス研修…19 回実施	
他団体の主催する研修会への職員の積極的な派遣	・ 派遣実績…27 講座、21 名 児童図書館員養成専門講座等研修 24 講座、17 名 県公共図書館協議会主催研修等 3 講座、4 名	
ホームページの一層の充実による情報発信	・ 県図書館のイベント情報のほか、県内市町村図書館の情報も随時発信 ・ ホームページアクセス件数…247, 102 件	県図書館ホームページアクセス件数 300,000 件
地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施による当館地図資料の広報	・ 出前授業、出前講座…9 回実施 ・ 地図活用研究会を開催（6・8・2 月）し、9 コンテンツを作製し、ホームページで公開 ・ 児童生徒地図作品展の開催（11/1～11/27） ・ 80 周年記念事業の際に、当館所蔵の古地図のレプリカや全国児童生徒地図作品展における歴代の大臣賞作品を展示	

図書館活用講座の開催	再掲	
行政機関との連携事業	再掲	
図書館見学の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・受入実績…23 団体、1,316 人 幼稚園・保育園：2 団体、472 人 小学校：10 団体、537 人 中学校：2 団体、201 人 高 校：1 団体、14 人 特支：2 団体、21 人 その他：6 団体、71 人 	

成果と課題

【新しいコミュニケーションツールを駆使した情報発信】【ホームページの一層の充実による情報発信】

成果 ホームページのほかツイッターも活用して、より細やかな情報発信ができた。

課題 図書館の行事や催物の情報を随時発信していくほか、新着図書や司書のおすすめ本の紹介もしていく。

【館内での会議等を利用した研修の実施】

成果 月末の図書整理日に行う全職員を対象とする全体会議において、防災訓練や各種研修報告、接遇研修等を行い、課題の共有と課題解決に向けた取組の意識統一を図ることができた。

【他団体の主催する研修会への職員の積極的な派遣】

成果 県外の専門講座や研究集会等に職員を積極的に派遣し、職員の資質向上と同時に、研修講師となる職員の育成ができた。

課題 経験年数や必要なスキル、内容・バランスを考慮した計画に基づいた派遣を行う。

【地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施による当館地図資料の広報】

成果 「授業で使える当館所蔵の地図」のコンテンツ作成に取り組み、地図資料の活用を提案することができた。

課題 コンテンツをより多く利用していただくために、平成 26 年度作成分をホームページに掲載し、他機関との連携を図る。

【図書館見学の受け入れ】

成果 見学者に、当館の魅力と県の中核図書館としての役割を周知することができた。事前学習に役立ててもらうため、見学時に受けた質問と回答を、ホームページで公開した。

数値目標（平成26年度評価）

○図書館サービス

平成27年3月末現在

指標		H26	評価	H22	H23	H24	H25
県図書館レファレンス件数（所蔵・口頭を除く）	目標	8,000件	A				
	実績	8,238件		7,654件	8,026件	6,928件	8,027件
	達成率	103%					
県図書館レファレンス満足度（大変満足＋満足）	目標	90%	A				
	実績	95%		69%	73%	61%	90%
	達成率	106%					
窓口サービス満足度（総合含む）（大変満足＋満足）	目標	90%	A				
	実績	99.8%			78%	75%	89%
	達成率	111%					

○県内市町村図書館等への支援

指標		H26	評価	H22	H23	H24	H25
県民一人あたりの貸出数（県内全図書館）	目標	5.3冊	A				
	実績	-		5.31冊	5.33冊	5.25冊	5.36冊
	達成率	-					
県内相互貸借定期便資料流通点数	目標	22,000点	B				
	実績	20,280点		21,320点	21,584点	23,770点	22,160点
	達成率	92%					
県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会における満足度（大変満足＋満足）	目標	90%	A				
	実績	99.0%		88%	93.3%	96%	98.6%
	達成率	110%					

○職員研修・広報活動

指標		H26	評価	H22	H23	H24	H25
県図書館ホームページアクセス件数	目標	300,000件	B				
	実績	247,102件		315,830件	272,155件	285,008件	266,811件
	達成率	82%					

評価基準

S（極めて優れている）	取組や活動が極めて優れており、特筆すべきである。
A（良好である）	取組や活動が良好であり、目標が達成されている。 （数値目標の達成率が100%以上）
B（不十分である）	取組や活動が不十分であり、改善すべきところがある。 （数値目標の達成率が100%未満）
C（極めて不十分である）	取組や活動が極めて不十分であり、課題の整理・抜本的な計画の見直し・改善が必要である。